

ライト点灯について

セット中(表示点滅)以外のどのモードのときでも、◎ ボタンを押すとライトが約 1.5 秒間点灯します。

→ 暗いところでも、時刻を見ることができます。



(ライト点灯)

■ ご注意 ■

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に◎ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

操作のしくみと表示の見方 (表示例では、アナログ部(針)を省略する場合があります。)

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
 ※各モードで◎ボタン以外のボタンを押した後に◎ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。
 ※テレメモモード、アラームモード、ハンドセットモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。
 ※どのモードのときでも、◎ボタンを約1秒間押しと直接時刻モードに戻ります。

時刻モード

時針 分針
(表示切替) A ボタン
◎ ボタン (モード切替)
◎ ボタン (ライト点灯)
曜日
月・日

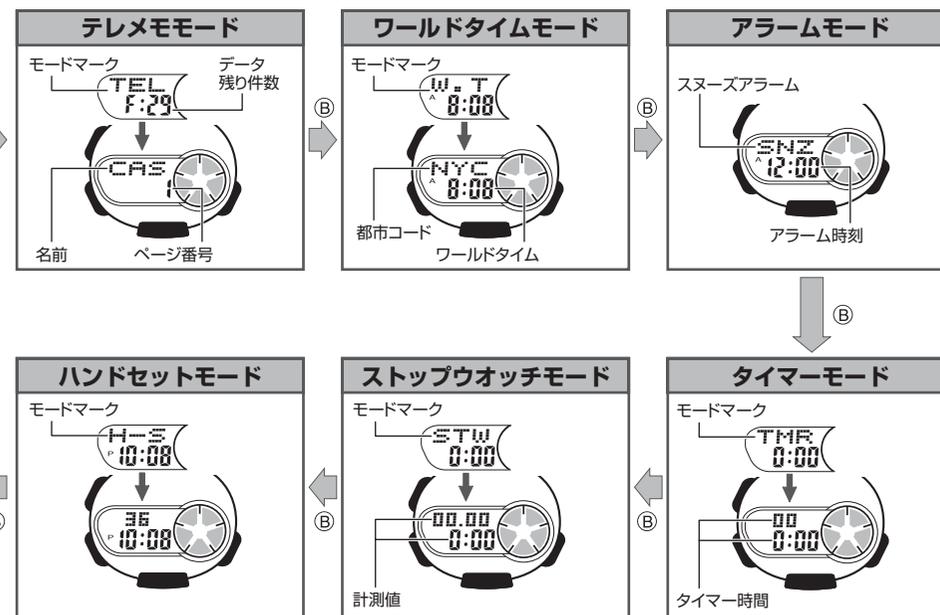
★表示切替について
 (A) ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

<カレンダー表示>
 A
 曜日
 FRI 6:30
 月・日

<時刻表示>
 秒
 午後マーク (午前はA点灯)
 10:00
 ◎ (12/24時間制切替)
 時・分

★曜日の見方
 SUN:日 MON:月 TUE:火 WED:水
 THU:木 FRI:金 SAT:土

★12/24 時間制表示切替について
 時刻表示のとき、◎ ボタンを押すごとに12時間制表示(午前はA/午後はPが点灯)と24時間制表示とが切り替わります。



テレメモの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたいが⑩ ボタンを押し、テレメモモードにします。

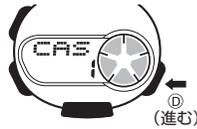
テレメモモードでは、名前（8文字）と電話番号（16桁）のデータを最大30件記憶できます。
 ※テレメモモードに切り替えると、データ残り件数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。
 ※データを入力すると名前順に並び替わります（自動ソート）。
 *自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、(空白)、アルファベット (A ~ Z)、記号 (@ ! ? ' , . ; :) / +-)、数字 (0 ~ 9) の順で自動的に整理されます。

■データのサーチ

1. 名前を選ぶ

テレメモモードのとき、
⑩ ボタンを押します

- ⇒ ⑩ ボタンを押すごとに名前順に表示されます。
- ※ 押し続けると早送りします。
- ※ 名前が4文字以上のときは、右から左へ流れて表示されます(データの最後に「◀」マークがつきます)。



2. 表示を切り替える

Ⓐ ボタンを押します

- ⇒ Ⓐ ボタンを押すごとに名前と電話番号の表示が切り替わります。
- ※ 電話番号が6桁以上のときは、右から左へ流れて表示されます(データの最後に「◀」マークがつきます)。

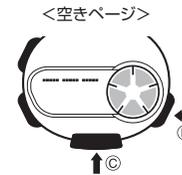


■データを入力する

1. 空きページを選ぶ

テレメモモードのとき、
⑩ ボタンと⑨ ボタンを同時に押します

- ⇒ 空きページ表示になります。
- ※ データがすでに30件記憶されているときは、不要なデータを消去しておいてください(「データの修正/消去」参照)。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押します

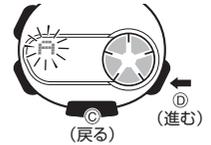
- ⇒ 名前部の1桁目が点滅します。



3. 点滅箇所のセット

⑩ または⑨ ボタンを押します

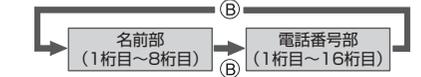
- ⇒ ⑩ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字(数字)が進み、⑨ ボタンを押すごとに戻ります。
- ※ ⑩・⑨ ボタンとも、押し続けると早送りします。



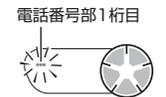
4. セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

- ⇒ Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。
- ※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。



- ※ 名前8桁分を送ると、電話番号部の1桁目が点滅します。



3. ~ 4. の操作を繰り返して、データを入力します。

- ※ 名前は最大8文字まで入力できます。名前部に入力できる文字は(空白)、アルファベット (A ~ Z)、記号 (@ ! ? ' , . ; :) / +-)、数字 (0 ~ 9) です。
- ※ 電話番号は最大16桁まで入力できます。電話番号部に入力できる文字は(空白)、0 ~ 9、() +- です。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

- ※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。
- ※ 続けて他のデータを入力したいときは、1. ~ 5. の操作を繰り返し行ないます。



■データの修正/消去

1. ⑩ ボタンを押して修正/消去したいデータを選びます

2. Ⓐ ボタンを約1秒間押します

- ⇒ 名前部の1桁目が点滅します。

3. データを修正/消去する

★データ修正… Ⓑ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、⑩ または⑨ ボタンを押して正しい文字(数字)を表示させます。

★データ消去… ⑩ ボタンと⑨ ボタンを同時に押します。「CLR」表示後、データが1件消去されます。

※ データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

4. 修正/消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます

- ※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい **ⓐ** ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン(30都市)の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、**ⓐ** ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。

※押し続けると早送りします。



ワールドタイムの合わせ方

ワールドタイムの時刻は、表示される都市のうち、ある1つの時刻を合わせると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

1. 都市コードを選ぶ

ワールドタイムモードのとき、**ⓐ** ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押して、セットしたい都市コードを選びます。

例) 都市コード「TYO」(東京)をセットする

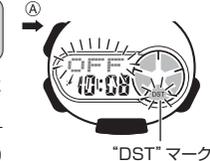


2. セット状態にする

ⓐ ボタンを約1秒間押します

→ 「DST」マークと「ON」または「OFF」が点滅します。

※このとき、**ⓐ** ボタンを押すごとにサマータイム(DST)のON/OFFを設定することができます(「サマータイムのON/OFF設定」参照)。

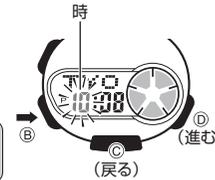


3. 「時」のセット

ⓑ ボタンを押します

→ 「時」が点滅します。

ⓐ または **ⓒ** ボタンを押します



→ **ⓑ** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**ⓒ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **ⓐ** ・ **ⓒ** ボタンとも、押し続けると早送りします。

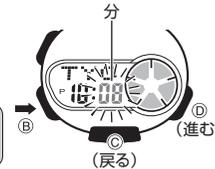
※ **ⓐ** ボタンと **ⓒ** ボタンを同時に押すと、基本時刻と同じ時刻で「時・分」がセットされます。

4. 「分」のセット

ⓑ ボタンを押します

→ 「分」が点滅します。

ⓐ または **ⓒ** ボタンを押します



→ 「時」のセットと同様に **ⓐ** または **ⓒ** ボタンでセットします。

5. セットを終わる

ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

サマータイム(DST)について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

サマータイムのON/OFF設定

1. ワールドタイムモードのとき、**ⓐ** ボタンを約1秒間押します

→ 「DST」マークと「ON」または「OFF」が点滅します。



2. **ⓐ** ボタンを押します

→ サマータイムのON/OFFが切り替わります。

※ ON = サマータイム ON (夏時間)

OFF = サマータイム OFF (通常時間)

※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まります。

3. **ⓐ** ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
PPG	パゴパゴ	-11		CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、イスタンブール
HNL	ホノルル	-10	パペーテ	JRS	エルサレム	+2	
ANC	アンカレジ	-9	ノーム	JED	ジェッダ	+3	クウェート、ナイロビ、リヤド、アディスアベバ
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル/タコマ	MOW	モスクワ	+3.5	
				THR	テヘラン	+3.5	
				DXB	ドバイ	+4	アブダビ、マスカット
DEN	デンバー	-7	エルバソ、エドモントン	KBL	カブール	+4.5	
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、メキシコシティ、ダラス/フォートワース	KHI	カラチ	+5	マーレ
				DEL	デリー	+5.5	
				DAC	ダッカ	+6	コロンボ
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、リマ、マイアミ、ボストン	RGN	ヤンゴン	+6.5	
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ、ラパス	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、ブエノスアイレス	HKG	ホンコン(香港)	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
---		-2					TYO
---		-1	アソレス諸島	ADL	アデレード	+9.5	
LON	ロンドン	+0	ダブリン、リスボン	SYD	シドニー	+10	グアム、ラバウル
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト	NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
BER	ベルリン	+1		WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2005年12月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたい(B)ボタンを押し、アラームモードにします。

■アラームの使い方

●アラームについて

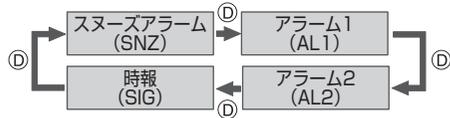
- スヌーズアラーム (SNZ)
設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴り、5分おきに合計7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。
- 通常アラーム (AL1、AL2)
設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。

●アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、**(D)**ボタンを押します

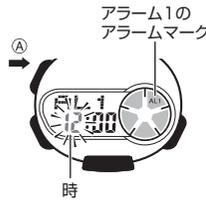
→ **(D)** ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。



2. セット状態にする

(A) ボタンを約1秒間押しします

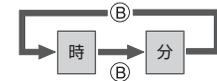
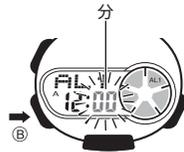
→ 「時」が点滅します。
※ 該当のアラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



3. セット箇所を選ぶ

(B) ボタンを押します

→ **(B)** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

(D) または **(C)** ボタンを押します

→ **(D)** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**(C)** ボタンを押すことに戻ります。
※ **(D)**・**(C)** ボタンとも、押し続けると早送りします。



3. ~ 4. の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※ 「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または24時間制にご注意ください。

※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

5. セットを終わる

(A) ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

●アラームのON / OFF 設定

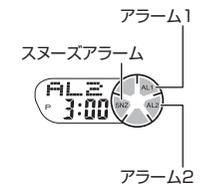
準備：アラームモードのとき、**(D)** ボタンを押して、設定したいアラーム (SNZ、AL1、AL2) を選びます。

(A) ボタンを押します

→ **(A)** ボタンを押すごとにアラームのON / OFFが切り替わります。
※ 該当のアラームマークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。



<アラームマークの見方>



●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※ スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します (スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します)。

※ 「アラームのON / OFF 設定」の手順でスヌーズアラームをOFFにすると、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

■ご注意

● スヌーズマーク点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報音を中断します。

- ・ 時刻モードでセット状態に入ったとき。
- ・ アラームモード (スヌーズアラーム) でセット状態に入ったとき。

● 基本時刻のセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、1回のみ報音を行ないます。

●モニターアラーム

アラームモードのとき、**(D)** ボタンを約1秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■時報の使い方

●時報について

毎正時 (00分) に「ピッピッ」と電子音を鳴らすことができます。

●時報のON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、**(D)** ボタンを押して、時報表示 (SIG) を選びます。

(A) ボタンを押します

→ **(A)** ボタンを押すごとに時報のON / OFFが切り替わります。

※ 時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。



タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい**ⓐ** ボタンを押し、タイマーモードにします。

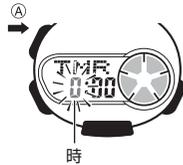
タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、**ⓐ** ボタンを約1秒間押しします

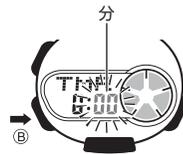
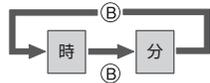
→「時」が点滅します。



2. セット箇所を選ぶ

ⓑ ボタンを押しします

→ **ⓑ** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所をセットする

ⓓ または **ⓓ** ボタンを押しします

→ **ⓓ** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**ⓓ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **ⓓ**・**ⓓ** ボタンとも、押し続けると早送りします。



2.～3.の操作を繰り返して、タイマー時間を合わせます。

※1分単位で24時間までセットできます。

※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を「0:00」にします。

4. セットを終わる

ⓐ ボタンを押しして、点滅を止めます

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、**ⓓ** ボタンを押しします

→ **ⓓ** ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※計測は1秒単位で行ないます。



- 計測ストップ後、**ⓐ** ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
- ロスタイムがあるときは、**ⓓ** ボタンでストップ後、もう一度 **ⓓ** ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

ストップウォッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい**ⓐ** ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、**ⓓ** ボタンを押しします

→ **ⓓ** ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。



● 通常計測

ⓓ → **ⓓ** → **ⓐ**
スタート ストップ リセット

積算計測…ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに **ⓓ** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム（途中経過時間）の計測

ⓓ → **ⓐ** → **ⓐ** → **ⓓ** → **ⓐ**
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット
└─スプリットタイム表示─┘

● 1・2 着同時計測

ⓓ → **ⓐ** → **ⓓ** → **ⓐ** → **ⓐ**
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

- 計測中に **ⓐ** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
- 計測終了後 **ⓐ** ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は、時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

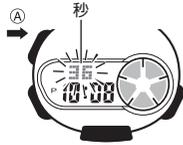
※デジタル部の時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

■ デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方

1. セット状態にする

時刻モードのとき、**(A)** ボタンを約1秒間押します

→「秒」が点滅します。

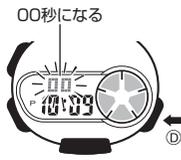


2. 「秒」合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて **(D)** ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。



3. サマータイムのON/OFF設定

(B) ボタンを押します

→「DST」マークと「ON」または「OFF」が点滅します。

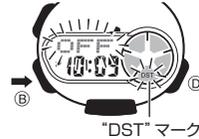
(D) ボタンを押します

→サマータイムのON/OFFが切り替わります。

※ON = サマータイム ON (夏時間)

OFF = サマータイム OFF (通常時間)

※サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まります。

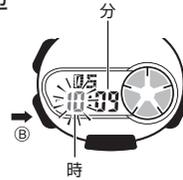


4. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. 点滅箇所を選ぶ

(B) ボタンを押します

→ **(B)** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



b. 点滅箇所をセットする

(D) または **(C)** ボタンを押します

→ **(D)** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**(C)** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **(D)**・**(C)** ボタンとも、押し続けると早送りします。



5. セットを終わる

(A) ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

a. ~ b. の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。※正しく年月日をセットすると、自動的に曜日計算されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

■ アナログ部 (針) の合わせ方

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

準備: 「操作のしくみと表示の見方」にしたがい **(B)** ボタンを押して、ハンドセットモードにします。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき、**(A)** ボタンを約1秒間押します

→表示が点滅します。

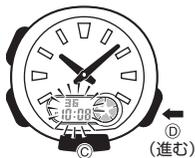


2. アナログ部を合わせる

(D) ボタンを押します

→ **(D)** ボタンを押すごとに時計回りに1/3分 (20秒) ずつ進みますので、アナログ針を合わせます。

※押し続けると早く進みません(針は逆方向には進みません)。



3. セットを終わる

(A) ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。

★ 針の自動早送り

(D) ボタンを押し続けて早送り中に **(C)** ボタンを押すと、ボタンから手を離しても針が進み続けます。

※自動早送りは時計が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。